

平成 23 年度事業報告

財団法人小堀遠州顕彰会

(1) 報告事項(1)平成 23 年度事業報告

(1) 茶会

(イ) 遠州忌茶会

平成 23 年 5 月 14 日(土曜日) 京都・大徳寺塔頭孤篷庵(小堀遠州公菩提寺・重要文化財保護建造物)を開放して、開催された。午前 9 時、同庵本堂における遠州茶道宗家 13 世小堀宗実家元の供茶に始まり、法要を営み且つ、山雲床席において名古屋世話人・永坂知久評議員が濃茶席を、また、忘釜席においては大阪世話人・池内克哉監事が薄茶席を、其心庵では小堀宗実家元が濃茶席をそれぞれ担当し、遠州公ゆかりの道具が展観され盛況であった。

(ロ) 御自影天神供養茶会(天神茶会)

平成 24 年 2 月 25 日(土) 遠州茶道宗家(東京都新宿区若宮町)において遠州公の信仰深かった御自影天神を供養する茶会を開催し、濃茶席を吉田浩之評議員、薄茶席を小堀宗実家元が釜を掛け、遠州公ゆかりの道具を展観した。

(ハ) 小堀遠州の世界 2011

平成 23 年 11 月 20 日(日)に開催された岡山県高梁市の高梁再発見事業「小堀遠州の世界 2011」を後援し小堀遠州の庭園を有する頼久寺にて、茶会を行い、その遺徳を広く紹介した。

(2) 展覧会

平成 24 年 3 月 11 日(日) 東京美術倶楽部重文展示室において、小堀遠州ゆかりの茶道具を展観した。

(3) 講演会

(イ) 平成 23 年 10 月 10 日(月・祝) 江戸東京博物館 会議室において、第 6 回秋季講演会を開催した。講師は三井記念美術館参事 赤沼多佳先生。テーマは昨年に引き続き「高麗茶碗について」を講演した。昨年度と今年度の講演内容を赤沼先生にまとめて頂き、「天霽」33 号に掲載した。

(ロ) 平成 24 年 3 月 31 日(土)にニッショーホールにおいて、第 25 回公開討論会を開催した。テーマは「紅心 宗慶宗匠を偲んで」。講師は、第 1 部、池内克哉監事・熊倉功夫理事・林屋晴三常務理事・小堀正晴理事長。第 2 部、永坂知久評議員・河合三男監事・小田宗達評議員・谷村庄太郎評議員。当日は多くの方が参加し、講師の方々の話に思い出深く耳を傾けていた。

(4) 刊行事業

これまでに発行した、『小堀遠州の書状』（平成14年5月1日発刊）・『続小堀遠州の書状』（平成18年1月14日発刊）に続き、第3集を発行する為、資料を収集し、編集を進めている。

(5) 会報の発行

会報『天霽（てんせい）』33号を発行し、会員に配布した。

(6) 成趣庵の公開

成趣庵の茶室・露地を公開して茶会を開催し、小堀遠州より繋がる建築・造園の美意識を顕彰し、紹介した。

(7) 文化交流

(イ) 日本・シンガポール親善文化交流

シンガポール国立大学日本研究学科において、毎月茶道教室を開催し、遠州の茶道を紹介した。

(ロ) 日本・オランダ親善文化交流

本年も引き続き日蘭文化交流を継続した。

(8) 茶道指導

小堀正晴理事により広く一般を対象として、遠州の茶道の指導を行った。

以上が平成23年度における当財団の事業報告の大要である。